





安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)



図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	火気厳禁。火気を絶対に近づけない。周囲で火気を使用しない。 火災・発火・破損の原因になります。	 指示	乾電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・感電の原因になります。		乾電池を子供にさわらせない。子供の手の届かない場所に保存する。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		電池ふたがしっかりとまらない場合、製品の使用を中止して子供の手の届かないところに保存する。 電池ふたは必ず取り付けてください。
	高温・高湿な場所、コンロや暖房機器などの近く、油分やホコリの多い場所での使用はしない。 火災・発火・感電の原因になります。		お手入れをするときは、乾電池を抜く。 感電・漏電・火災の原因になります
	高い場所から落下させたり、ぶついたり、強い衝撃を与えない。 故障の原因になります。		消毒用アルコールの扱いには十分注意する。 消毒用アルコール付属の説明書も熟読ください。
	アルコール系液体タイプ以外のものをタンクに絶対に入れない。 ジェルタイプのもの、次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウム、液体石けん・洗剤などを入れると故障の原因になります。		 分解禁止 分解しない。また、修理技術者以外の人には修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤお客様相談室(表裏紙参照)にご相談ください。
使用する乾電池はすべて同じ種類のものを使用し、新旧混ぜたりしない。 火災・発火・感電の原因になります。	 ぬれ手禁止 ぬれた手で、電池の交換をしない。本機の操作をしない。 感電の原因になります。		
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は使用を停止し、乾電池を抜く。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止 本体を、水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。	
 指示	乾電池からもれた液には触れずに、触れた場合や衣服に付いた場合は、すぐに十分にきれいな水で洗い流し、炎症など発生したら医師の診察を受ける。		

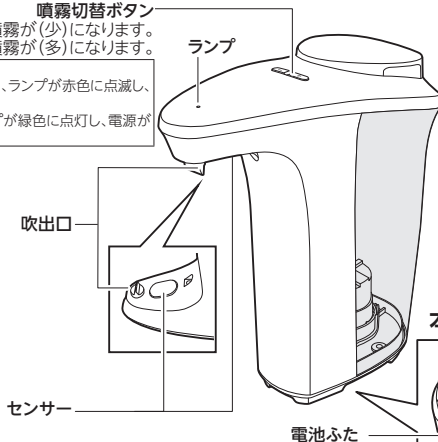
⚠ 注意

 <p>禁止</p>	<p>吹出口をふさがない。 吹出口をふさぐと、変形や故障の原因となります。</p>	 <p>指示</p>	<p>異なったメーカーのアルコール消毒液を入れるときは、追加せずに使い切って、乾燥させてからにする。 薬品の混合による異常が起こらないようにしてください。</p>
	<p>お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>		<p>長期間使用しないときは、アルコールを別の容器に入れ替えておく。</p>
	<p>犬やネコなどのペットの通る場所に設置しない。 ペットが本体などを傷め、誤動作させ、火災の原因になります。</p>		<p>長期間使用しないときは、乾電池を本体から取り出ししておく。 感電・火災・液もれの原因になります。</p>
	<p>革製品などアルコールで変色・変形するものの近くで使用しない。 すぐに変色変形しなくても、時間の経過で変化するものもあります。</p>		<p>乾電池を入れるときは、極性(⊕⊖)を確認して正しく入れる。 故障・液もれの原因になります。</p>
	<p>黒いものの近くで使用しない。暗い場所で使用しない。 センサーの反応が悪くなります。</p>		<p>電池ふた、タンクふたはしっかり取り付けておく。 感電・漏電・火災の原因になります。</p>

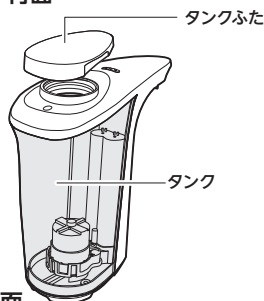
各部の名称とはたらき

本体・前面

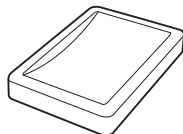
- 噴霧切替ボタン**
- ・ - を押すと噴霧が(少)になります。
 - ・ + を押すと噴霧が(多)になります。
- 《運転停止機能》**
- ・ - を長押しすると、ランプが赤色に点滅し、電源が切れます。
 - ・ + を押すとランプが緑色に点灯し、電源が入ります。



本体・背面



本体・底面



付属品： しずく受けトレイ

本体前(吹出口の下)に置いて、しずく受けトレイとして使用してください。

正しい使いかた

使用前の準備



本体に触れる際には、いつも本体後方（タンク側）を持って、センサーが反応しないように注意する。本体に触れた手にセンサーが反応して不用意に消毒液が出て、顔や手足、衣服にかかることがあります。持ち運びや電池の交換、消毒液の補充するときも十分に注意してください。

電池の取り付け

1. 本体底面の電池ふたを取りはずす

左回り(反時計回り)にする (⌚→🌀) と、取りはずすことができます。

2. 単三形アルカリ乾電池4本（別売）を入れる

右図のように吹出口を手前にして、上部の左側が⊖マイナス、右側を⊕プラスになるように入れてください。



- 使用する電池は同じ種類のものを使用し、新旧混ぜたりしない。
- 電池の破裂や液れれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。

3. 本体底面に電池ふたを取り付ける

右回り(時計回り)にして取り付けます (🌀→⌚)。電池が入ると、電源が入になります。

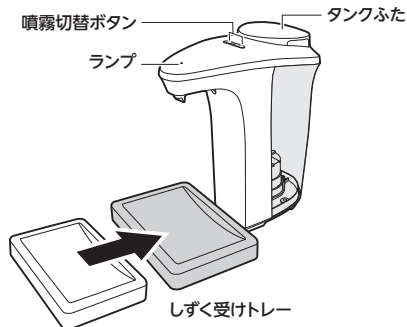
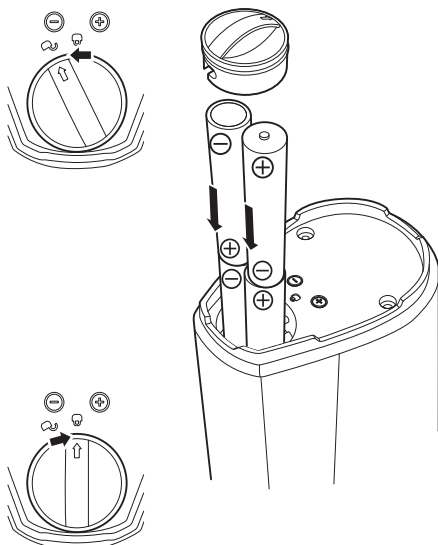


電池が入ったことによって、いつでもセンサーに反応して噴霧する状態になるので、消毒液が入っている場合はセンサーに反応しないように注意する。本体後方（タンク側）を持って、センサーが反応しないように注意してください。

4. 安定した水平な場所に設置し、その前に付属のしずく受けトレイを置く



設置場所の近くにアルコールで変色するようなものを置かない。付属のしずく受けトレイを設置してください。アルコールが床などに付着すると変色の原因となります。ビニールなども併せて敷いてください。



アルコール消毒液の注入

1. 噴霧切替ボタンの-ボタンを長押ししてランプが一度赤色に点滅したことを確認する [電源切]

2. 本体上部のタンクふたを取りはずす

3. タンクに消毒液 (アルコール系液体タイプ) を入れる

本体上部から約2~3cm程度空けた状態を目安に、消毒液を注入してください。

4. 本体上部にタンクふたを取り付ける

5. 噴霧切替ボタンの+ボタンを押して、ランプが一度緑色に点灯したことを確認する【電源入】

電源が入ると、センサーに反応して噴霧されるようになります。



アルコール消毒液

- アルコール系液体タイプ以外のものをタンクに絶対に入れない。

ジェルタイプのもの、次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウム、液体石けん・洗剤などを入れると故障の原因になります。

使用方法

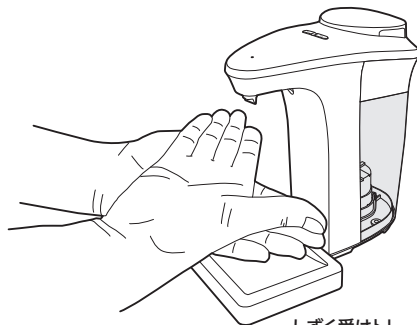
1. 手を吹出口の下におくと、センサーが反応し、消毒液を噴霧する

正しく電池が取り付けられ、消毒液が注入されると、吹出口のところにあるセンサーが反応して、消毒液を一定量噴霧します。

- 消毒液注入後すぐや、数日使用しない状態が続いたあとの最初の噴霧は、噴霧量が少なくなることがあります。
- センサーが反応する範囲はセンサーの真下約5cm以内です。

2. 本体上部の噴霧切替ボタンを押すことで、噴霧の量を調節する

(多)・(少)の2段階で噴霧を調節することができます。



しずく受けトレイ

⚠注意

消毒液を入れてすぐや、長期間使用しなかったときなど、すぐに噴霧されない場合は、何度かセンサーを反応させて噴霧させる。消毒液が吹出口まで届いていない (または消毒液が乾燥した) ので、数回の噴霧で使用できるようになります。

正しい使いかた (つづき)

使用中止

1. 一定時間使用しないときや、本体を移動させるときなどは電源を切る

- ・噴霧切替ボタンの-ボタンを長押ししてランプが一度赤色に点滅すると[電源切]状態になります。
- ・再度使用するときには、噴霧切替ボタンの+ボタンを押してランプが一度緑色に点灯すると[電源入]状態になります。

2. 長期間使用しないときやお手入れをするときは電池をはずす

使用しなくても、センサーは常時働いているため、電池が消耗しますので、「電池の取り付け」(4ページ)の逆順で電池を取りはずしてください。その際、アルコール消毒液も入れたままにせず、他の容器に移し替えてください。

お手入れと保存



警告 お手入れの際は、必ず乾電池を本体から抜く。感電・けが・やけどの原因になります。



注意 本体に触れる際には、本体後方(タンク側)を持って、センサーが反応しないように注意する。本体に触れた手にセンサーが反応して不用意に消毒液が出て、顔や手足、衣服にかかることがあります。持ち運びや電池の交換、消毒液の補充するときも十分に注意してください。

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください(強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります)。

※ オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しないでください。変色・変形させる原因になります。

※ しずく受けトレイは、丸洗いができます。

吹出口のお手入れ

定期的にはやわらかい布などで拭き取ってください。

お願い

- ・本体をお手入れするときに、住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に直接、水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

保存のしかた

- ・お手入れの後、よく乾燥させてください。
- ・乾電池を取りはずし、ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保存してください。
- ・アルコール消毒液は使い切ってください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・乾電池が取り付けられていない	乾電池を入れる
	・乾電池の⊕⊖が間違っている	乾電池の⊕⊖を正しく入れる
	・乾電池が消耗して切れている	新しい乾電池を入れる
	・電源を切っている	噴霧切替ボタンの+ボタンを押す
センサーが反応しにくい	・黒色のものに対しては反応しにくい	黒いものから遠ざけ、明るい場所で使用する
	・もう一度手を入れて反応させてみる	手に一度反応したあと、手を抜いて手を入れなおさないで反応させません
	・センサーまでの距離が遠い・離れている	手をセンサーに近づける、多少角度を変えてみる(センサー直下5cm以内で反応)
	・センサー部分が汚れている	センサー部分をお手入れする
消毒液が噴霧しない	・使用できるアルコール系消毒液を入れていない・なくなっている	使用できるアルコール消毒液を入れる
	・電源を切っている	噴霧切替ボタンの+ボタンを押す
	・消毒液を入れてすぐの状態、または長期間使用していなかった状態から使用している	何度かセンサーに反応させて消毒液を出す(吹出口まで消毒液が届いていない、または長期間中蒸発してしまったため)
	・吹出口が詰まっている	針などできれいにする

長年ご使用のアルコール手指消毒液自動ディスペンサーはよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・本体(特に乾電池部分)が異常に熱い。
- ・本体を動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、本体から乾電池を抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

故障・修理についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

 **0120-104-481**

【受付時間】9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

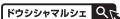
※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は  **ドウシシャマルシェ**

 **DOSHISHA Marché**
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>



こちらの
QRコードを
読み込んで
ください